

職場のメンタルヘルス対策のための専門 医療機関との連携に関する 調査研究

～「大阪版事業場のこころの健康専門家 ガイド」活用の効果評価と マッチングツールの開発～

研究代表者 茂松 茂人
(大阪産業保健総合支援センター 所長)

研究分担者 廣川 空美
(大阪産業保健総合支援センター
産業保健相談員)

研究分担者 大脇 多美代
(大阪産業保健総合支援センター
産業保健相談員)

共同研究者 大平 哲也 (福島県立医科大学 教授)

はじめに

- ⓧ 事業場のメンタルヘルス対策の推進のために、大阪産業保健総合支援センター(2013)は、大阪府下の精神科専門医療機関における事業場のメンタルヘルス対策への取り組みと職場復帰支援のサービス提供について調査を実施
- ⓧ 事業場のメンタルヘルス対策における医療機関との連携を促進することを目的に、「大阪版事業場のこころの健康専門家ガイド」（以下ガイド）を作成し結果を公開
- ⓧ 大阪府下の事業場に対し、専門医療機関との連携の実態調査と、ガイドの活用状況を把握する必要性
- ⓧ 事業場と専門医療機関との連携に係る情報提供が効果的・効率的に行われるためのマッチングツールを作成する必要性

大阪府版 事業場のメンタルヘルス

こころの健康専門家ガイド

事業場のメンタルヘルス推進にお役立てください



「こころの健康専門家ガイド」をご利用いただく皆様へ

豊能 豊能郡能勢町 豊能郡豊能町 池田市 箕面市 豊中市 吹田市

三島 茨木市 高槻市 摂津市 島本町

大阪市北部 淀川区 東淀川区 都島区 福島区 北区

大阪市東部 旭区 鶴見区 城東区 東成区 生野区

大阪市西部 西淀川区 此花区 港区 大正区 西成区

大阪市中央部 西区 中央区 天王寺区 浪速区

大阪市南部 阿倍野区 住吉区 東住吉区 住之江区 平野区

北河内 枚方市 寝屋川市 交野市 守口市 門真市 四條畷市 大東市

中河内 東大阪市 八尾市 柏原市

南河内 松原市 藤井寺市 羽曳野市 太子町 大阪狭山市 富田林市

堺市 北区 堺区 中区 西区 東区 南区 美原区

泉北 高石市 和泉市 泉大津市

泉南 岸和田市 貝塚市 泉佐野市 泉南市 阪南市 泉南郡 熊取町 泉南郡田尻町 泉南郡岬町



各カテゴリー一覧

カウンセリング実施施設の一覧

産業医資格を持つ
医師在籍施設の一覧

事業場との面談対応施設の一覧

職場復帰支援（リワーク支援）の
サービス提供施設の一覧

紹介状など資料ダウンロード

大阪産業保健総合支援センターへ

大阪府地域産業保健センターへ

医師以外の専門職

(看護師 臨床心理士 作業療法士 理学療法士 言語療法士 臨床検査技師、薬剤師、臨床工学技師、放射線技師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、診療情報管理士、看護補助)

特徴（主に対応している領域）

うつ病 気分障害 統合失調症 神経症 てんかん 認知症 適応障害 パニック障害 不眠症 心身症	
カウンセリング	可能
女性のメンタルヘルス（更年期障害、ハラスメント、DV等）の相談	可能
職場のメンタルヘルスの相談	可能
その他 ()	

職場のメンタルヘルスについて

1. 事業場から面談の依頼があった場合、本人の受診の際の同席	可能
2. 本人の同意があれば事業場の者との面談	可能
3. その他 ()	
4. 事業場の産業医もしくは産業保健スタッフからの「職場復帰支援に関する情報提供依頼書」への対応をした経験	ある
5. 事業場の産業医もしくは産業保健スタッフからの情報提供依頼への対応	可能
6. 産業医の資格	ない
産業医の任命	

本研究の目的

- ↳ 大阪府下の事業場を対象に
 - ① 専門医療機関との連携状況の実態調査を行う
 - ② 当センターで作成した「大阪版事業場のこころの健康専門家ガイド」（以下ガイド）が有効活用されているか検証し、その効果や改善点を明確にする
- ↳ 事業場と専門医療機関との連携に係る情報提供が効果的・効率的に行われるためのマッチングツールを作成する

調査対象事業場

↳ 大阪府下の企業リストから選定した1249件となり、回答を得たのは369件（回収率は29.5%）であった。

- ①大阪産業保健総合支援センター所有の企業リストから939件
- ②大阪府下の企業リストからのランダムサンプリングにより261件
- ③大阪府下の建築健康保険加入企業リストから49件

調査票

III 『大阪府版 事業場のメンタルヘルス こころの健康専門家ガイド』について

大阪産業保健総合支援センターは、大阪府医師会の協力を得て、ホームページで大阪府下の精神科病院及びクリニックの職場のメンタルヘルス対策へのサービス提供情報を公開しています。

(HPアドレス) <http://osakas.johas.go.jp/kokoro/>)

1 『大阪府版 事業場のメンタルヘルス こころの健康専門家ガイド』

が公開されていることを知っている。

(はい ・ いいえ)

2 『大阪府版 事業場のメンタルヘルス こころの健康専門家ガイド』

を利用したことがある。

(はい ・ いいえ)

利用したことがある方のみお答えください。

① 『大阪府版 事業場のメンタルヘルス こころの健康専門家ガイド』

の情報はどの程度役に立ちましたか。

(かなり役立つ ・ まずまず役立つ ・ どちらでもない ・ あまり役立たない ・ 全く役立たない)

② 『大阪府版 事業場のメンタルヘルス こころの健康専門家ガイド』

をどのような場合に利用したのか、お書きください。

--

③ 『大阪府版 事業場のメンタルヘルス こころの健康専門家ガイド』

を利用した際に不都合が生じましたか。 できましたら不都合の内容をお書きください。

--

倫理的配慮

- ⓧ 産業保健調査研究倫理審査委員会による審査を経て、承認を受けた上で実施した。

統計的分析

- ⓧ 統計的分析の対象件数は、回収された369件とした。再調査については214件とした。
- ⓧ 結果の集計は、回答ごとに度数(N)と割合(%)を算出した。複数回答については回答数を369件（再調査は214件）で割った割合を算出した。

結果

表1 業種

	N	%
建設業	29	7.9
製造業	141	38.2
電気・ガス・水道業	2	0.5
情報通信業	17	4.6
運輸業	14	3.8
卸売業・小売業	39	10.6
金融業・保険業	6	1.6
不動産業	2	0.5
研究・技術サービス業	13	3.5
宿泊業、飲食サービス業	3	0.8
生活関連サービス業・娯楽業	1	0.3
教育・学習支援業	9	2.4
医療・福祉	32	8.7
サービス業（その他）	26	7
その他	22	6
無記入	13	3.5
合計	369	100

表2 常用従業員数

	N	%
29人以下	9	2.4
30～49人	26	7.0
50～99人	45	12.2
100～299人	96	26.0
300～499人	46	12.5
500～999人	53	14.4
1000人以上	61	16.5
無記入	33	8.9
合計	369	100

結果

図1 Q. 『大阪府版 事業場のメンタルヘルス 心の健康専門家ガイド』が公開されていることを知っている

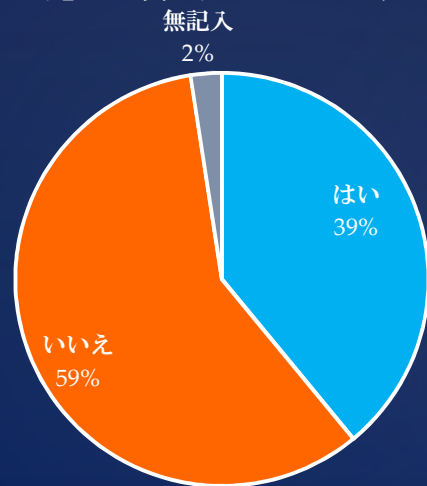
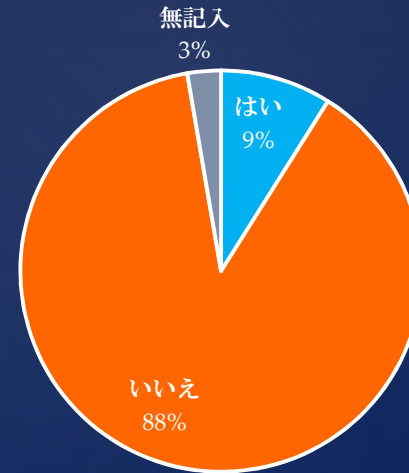


図2 Q. 『大阪府版 事業場のメンタルヘルス 心の健康専門家ガイド』を利用したことがある



結果

表3 Q. 『大阪府版 事業場のメンタルヘルス こころの健康専門家ガイド』を利用したことがある

		100人未満	100人以上 500人未満	500人以上	合計
利用あり	N	7	7	13	27
	%	9.2%	5.0%	11.5%	8.2%
利用なし	N	69	133	100	302
	%	90.8%	95.0%	88.5%	91.8%
合計	N	76	140	113	329
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

$\chi^2 = 3.6, df = 2, p = 0.16$; 調整済み残差: a 期待度数よりも多, b 期待度数よりも少

図3 「ガイド」の利用の有無と職場のメンタルヘルス対策

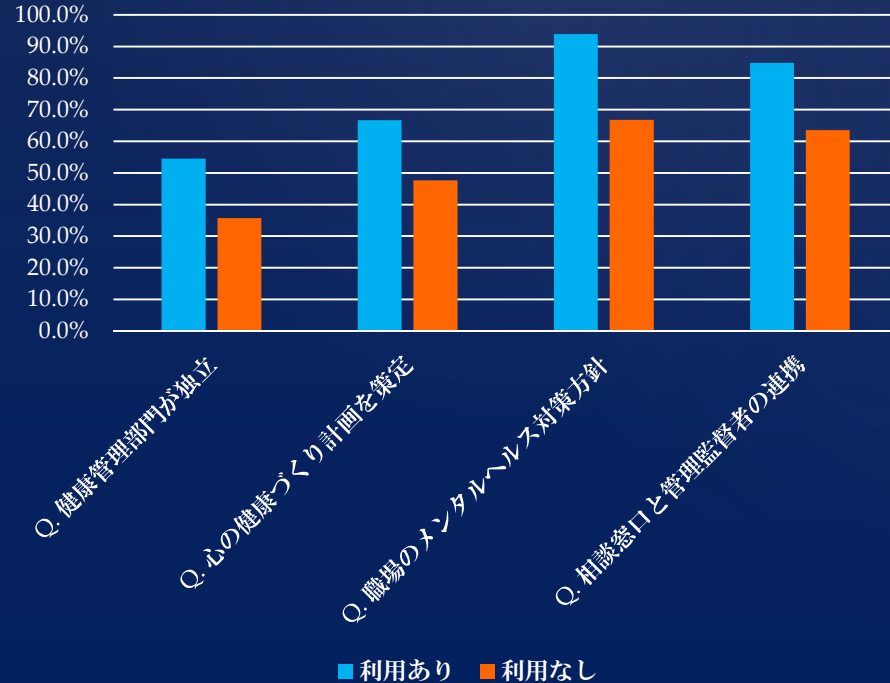
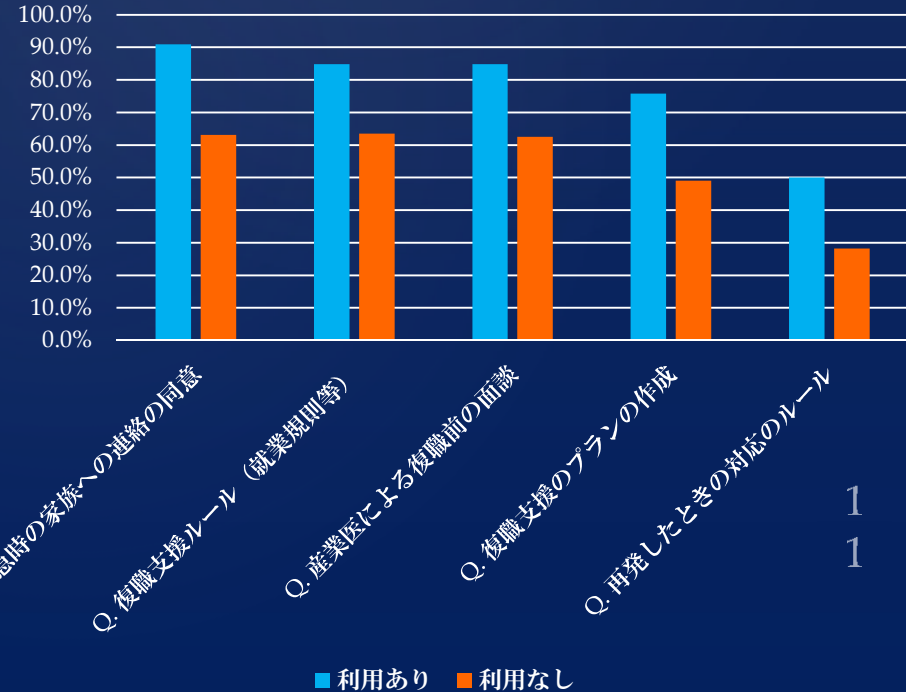


図4 「ガイド」の利用の有無と復職支援



再調査：対象事業場

と 「大阪版事業場のこころの健康専門家ガイド」の利用経験がないという回答の336件を対象とし、再調査を実施したところ、214件（回収率63.9%）から回答を得た。

表4 記入者の職種

	N	%
産業医	10	4.7
保健師	32	15.0
看護師	33	15.4
事業主	2	0.9
人事労務担当	105	49.1
衛生管理者	38	17.8
その他	11	5.1

結果

図5 Q. 『大阪府版 事業場のメンタルヘルス 心の健康専門家ガイド』の使用

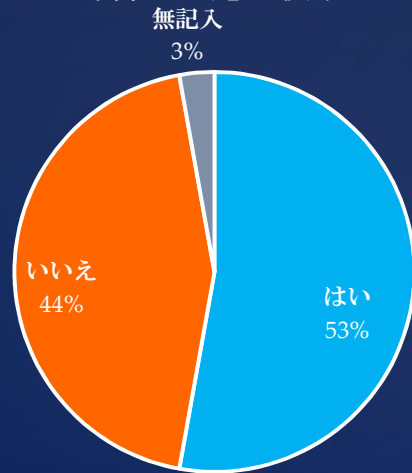
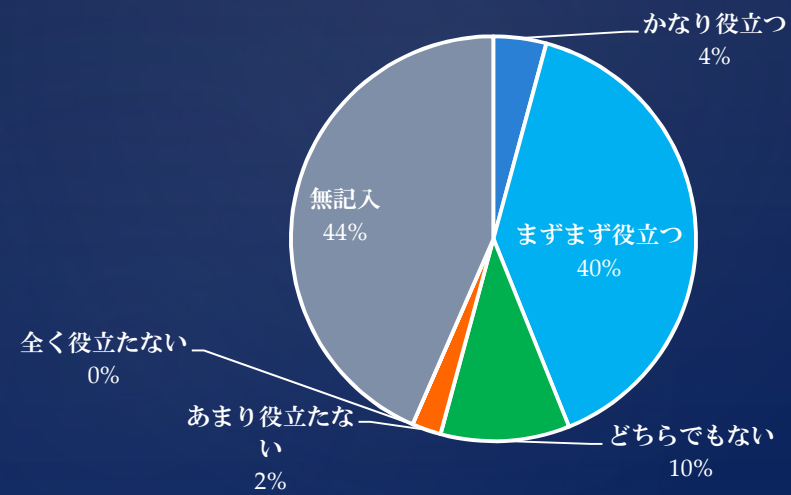


図6 Q. 情報が役に立つ程度



結果

図7 「ガイド」利用の有無と職場のメンタルヘルス対策との関連

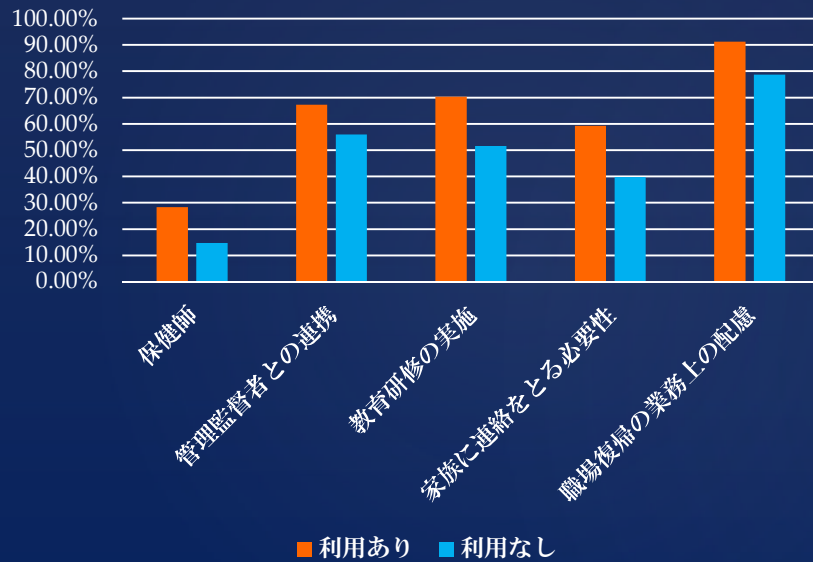


表5 「ガイド」利用を予測する変数

	Odds比	95% CI	
		Lower	Upper
保健師の存在	2.34	1.02	5.39
窓口連携			
なし	0.40	0.15	1.08
どちらでもない	0.22	0.07	0.65
教育研修	1.59	0.77	3.26
家族との連絡	1.71	0.89	3.30
業務上の配慮			
なし	9.05	0.83	99.10
どちらでもない	4.49	0.38	53.43

結果

表6 Q. 活用できると思う場面

	%
医療機関の受診先を紹介する際	30.6
医療機関の検索	14.9
カウンセリングがいるのか	8.3
相談を受けた場合	8.3
リワーク施設の検索	5.8
ストレスチェック後の情報	5.0
産業医の検索	4.1
医療機関の特徴（主に対応している領域）。	2.5
紹介状等の書式のダウンロード	2.5
その他	20.7

表7 Q. あまり役立たない、活用できないと思う点

	%
近隣（近畿圏内）の医療機関の情報がない	14.6
専門医療機関がどれほど信頼できるのかが不明	9.8
掲載医療機関の数が少ない	7.3
地図から施設の検索をすることが困難	7.3
専門医療機関の雰囲気が分からない	7.3
従業員が自ら医療機関を選択している	4.9
現在特に必要性がない	14.6
その他	34.1

表8 Q. さらに掲載してほしい情報

	%
費用（カウンセリング費用を含む）などの条件	10.2
近隣の情報に拡大	10.2
医師の詳細な情報（人数、性別、専門など）	8.2
施設一覧に所在地を記載	8.2
対応の事例	8.2
予約の要・不要	6.1
初診までの日数	6.1
ストレスチェック後の面談	4.1
利用者の声や口コミ	4.1
電話やメール相談の可否	4.1
発達障害の対応の可否	4.1
各種心理テストの実施の有無	4.1
法改正	4.1
リーフレットやポスターのダウンロード（関連サイトへのリンク）	4.1
その他	14.3

表9 Q. 改善してほしい点

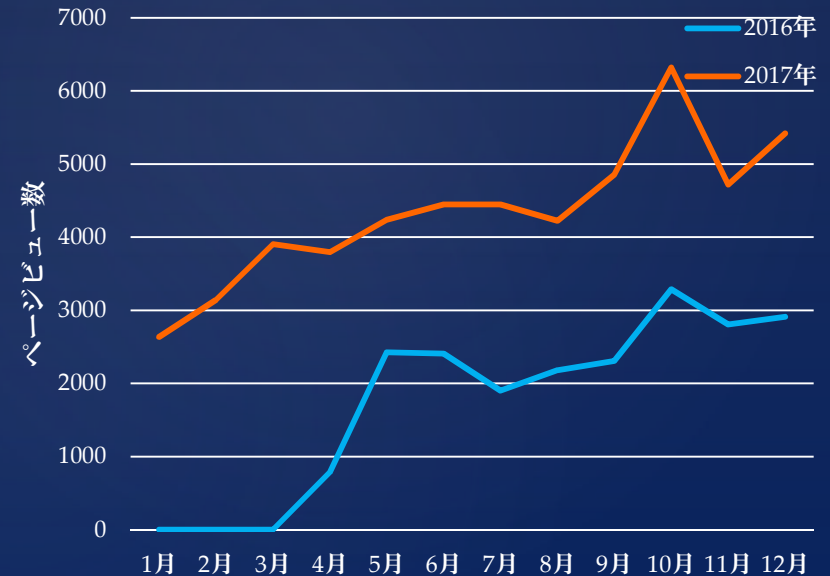
	%
医療施設の検索方法（地図と地域区分、最寄り駅など）	25.0
登録医療機関の増加	12.5
近隣の情報	9.4
最新情報のメンテナンス	6.3
検索エンジンからのアクセス	6.3
医師に関する詳細な情報や所属学会など	6.3
分かりやすかった	9.4
その他	25.0

結果

表10 ガイドのページビュー数の2016、2017年度比較

	2016年度 (4/1 ~2/28)	2017年度 (4/1 ~2/28)	2017年度 /2016年度 比
総ページビュー数	26,799	57,026	2.1
リワーク施設一覧	2,527 (9.43%)	5,580 (9.79%)	2.2
産業医資格一覧	1,792 (6.69%)	3,621 (6.35%)	2.0
トップページ	2,408 (8.99%)	3,058 (5.36%)	1.3
カウンセリナー一覧	1,553 (5.79%)	2,602 (4.56%)	1.7
医療機関A	733 (2.74%)	1,724 (3.02%)	2.4
医療機関B	71 (0.26%)	1,238 (2.17%)	17.4
医療機関C	266 (0.99%)	1,009 (1.77%)	3.8
医療機関D	448 (1.67%)	964 (1.69%)	2.2
医療機関E	439 (1.64%)	952 (1.67%)	2.2
医療機関F	314 (1.17%)	904 (1.59%)	2.9
医療機関G	98 (0.37%)	851 (1.49%)	8.7
面談可能施設一覧	480 (1.79%)	840 (1.47%)	1.8

図8 ページビュー数の月別比較



こころの健康専門家との連携について

事業場において、産業保健スタッフや人事・労務担当者として、外部医療機関との連携が求められる場合があります。仕事や日常生活への支障が大きく医療機関の受診が必要な場合、従業員の方が治療を受けながら就労を継続される場合、退職された後の復職時期などです。

掲載されている情報を参考に、貴事業場のメンタルヘルスの推進にお役立ていただければと思っています。

条件から検索する

キーワード

住所

診療曜日

- 月 火 水 木 金
土 日 祝

予約

- 要 不要

疾病

- うつ病 気分障害
統合失調症 神経症
てんかん アルコール関連
認知症 適応障害
思春期 パニック障害
発達障害 不眠症
心身症

施設特徴

- カウンセリング実施
産業医在籍
事業場との面談対応
職場復帰支援（リワーク支援）

検索

地図から検索する



地域の詳しい市区はこちら [➡](#)

「事業場のメンタルヘルスこころの健康専門家ガイド」の使い方

0. どうやってガイドブックを見るの？

大阪産業保健総合支援センターのHPから



もしくは、『Google』などの検索サイトで「大阪こころの健康専門家ガイド」と入力
<http://osakas.johas.go.jp/kokoro/> を直接検索してください。

トップページ
↓↓↓



考察

- ⊗ 職場のメンタルヘルス対策の方針が決まっており、復職支援のルール作りなどが決められている事業場でガイドの利用が見られる傾向が分かった。
- ⊗ ガイドの利用につながる要因として、**保健師の存在、相談窓口と管理監督者の連携**が明確になった。
- ⊗ 復職支援の一環として地域の医療機関で行われている**リワーク支援へのニーズ**がある事業場と考えられる。
- ⊗ ガイドは、利用した経験のある事業場にとっては概ね好評であることが分かったが、大阪府の**近隣の府県の情報**や、大阪府下での医療施設の**情報を充実**させる必要性や、**検索方法について改善**しなければならない点が明確になった。定期的なアップデートについては、今後の課題である。

研究成果の活用予定

- と 大阪産業保健総合支援センターのホームページ上で公開し、ガイドは調査結果を踏まえて**マッチングのための検索ツールを改良**している。大阪府下の事業場に広報し、事業場の産業保健スタッフと精神科専門医療機関との連携を強化できるように**ガイドの利用マニュアルを公開**し、周知していく予定である。

※開示すべき利益相反関係にある企業はありません